

令和3年県民意識調査結果（テーマ別）

【概要版】

令和4年3月
宮 城 県

目 次

I 調査結果	1
1 テーマ別項目	1
(1) 暮らしの満足度について.....	1
(2) 防災意識について	7
(3) 自転車保険の加入状況等について.....	9
(4) 2050年脱炭素社会の実現について.....	13
(5) 宮城の魅力について	17

I 調査結果

1 テーマ別項目

テーマ別項目として、「暮らしの満足度について」、「防災意識について」、「自転車保険の加入状況等について」、「2050年脱炭素社会の実現について」及び「宮城の魅力について」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 暮らしの満足度について

調査結果の概要

【暮らしの満足度について】

- 県全体で、暮らしの満足度について、満足群が不満群を上回ったのは、「文化・芸術・スポーツへの親しみ（満足群 41.7%, 不満群 37.3%）」、「余暇活動や生きがいなど生活の楽しさ（満足群 46.0%, 不満群 42.9%）」、「身の回りの自然環境や公園の充実（満足群 46.7%, 不満群 43.9%）」、「安心安全のための防犯や防災（満足群 49.8%, 不満群 39.4%）」で、その他は何れも「不満群」が「満足群」を上回っています。
- 「満足群」が一番高かったのは、「安心安全のための防犯や防災（49.8%）」、一方で「不満群」が一番高かったのは「仕事の状況や収入（56.8%）」となっています。

【宮城で暮らして良かったと思うか】

- 県全体で、宮城県で暮らして良かったと思うかについて、「良かった（40.8%）」又は「どちらかといえば良かった（45.6%）」と回答している割合の合計は、86.4%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば良くなかった（4.2%）」又は「良くなかった（1.9%）」と回答している割合の合計は、6.1%となっています。

図 1 暮らしの満足度（仕事の状況や収入）について（県全体）

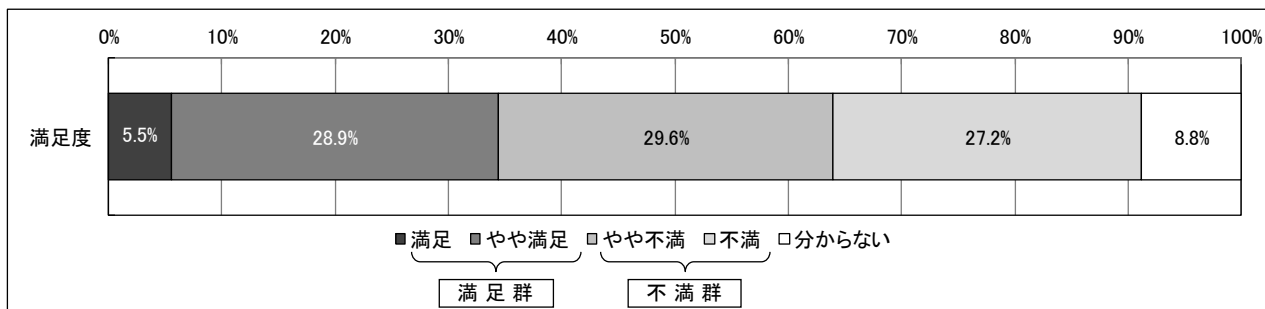


表 1 仕事の状況や収入に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	34.4%	33.7%	34.9%	33.7%	35.4%	34.0%	34.7%	34.6%	32.7%	35.7%	32.8%	36.3%	37.3%	31.2%

表 2 仕事の状況や収入に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	56.8%	58.6%	55.3%	61.3%	49.6%	55.5%	57.8%	56.1%	55.2%	59.9%	58.9%	55.2%	53.3%	59.1%

図2 暮らしの満足度（ワークライフバランス（仕事と生活））について（県全体）

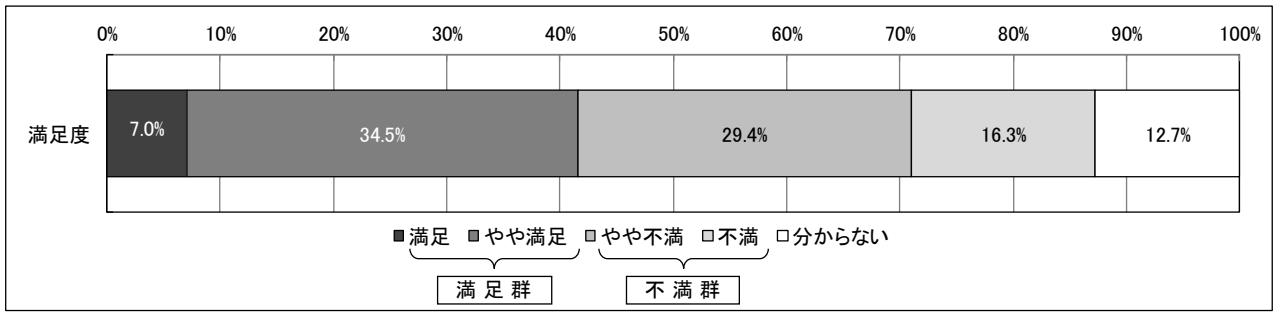


表3 ワークライフバランス（仕事と生活）に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	41.5%	41.2%	41.7%	41.6%	41.2%	38.9%	43.3%	44.0%	38.5%	41.5%	42.4%	46.1%	41.0%	37.4%

表4 ワークライフバランス（仕事と生活）に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	45.7%	48.0%	44.0%	51.3%	36.6%	47.0%	44.9%	42.8%	47.5%	48.7%	44.7%	41.4%	43.9%	50.9%

図3 暮らしの満足度（出産・子育てのしやすさ）について（県全体）

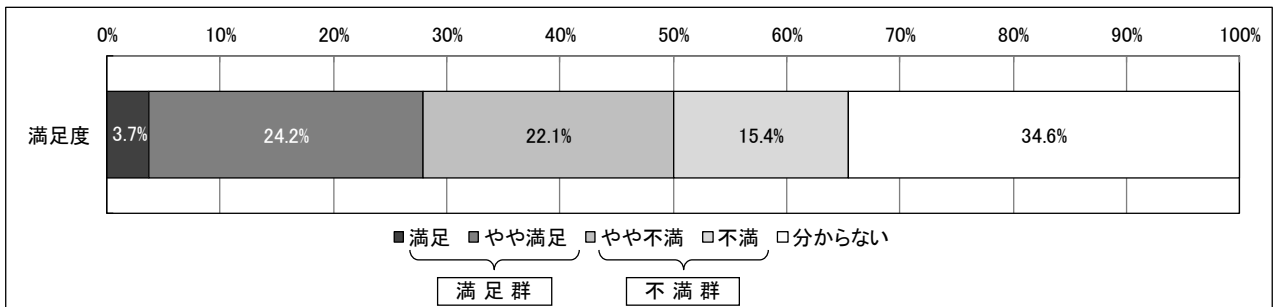


表5 出産・子育てのしやすさに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	27.9%	25.4%	29.7%	28.3%	27.0%	26.2%	29.0%	20.7%	26.9%	31.7%	36.3%	28.0%	27.3%	23.9%

表6 出産・子育てのしやすさに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	37.5%	36.7%	38.2%	40.0%	33.5%	34.9%	38.8%	47.7%	32.9%	35.5%	34.3%	37.5%	35.6%	36.8%

図4 暮らしの満足度（現在の学校教育の内容や環境）について（県全体）

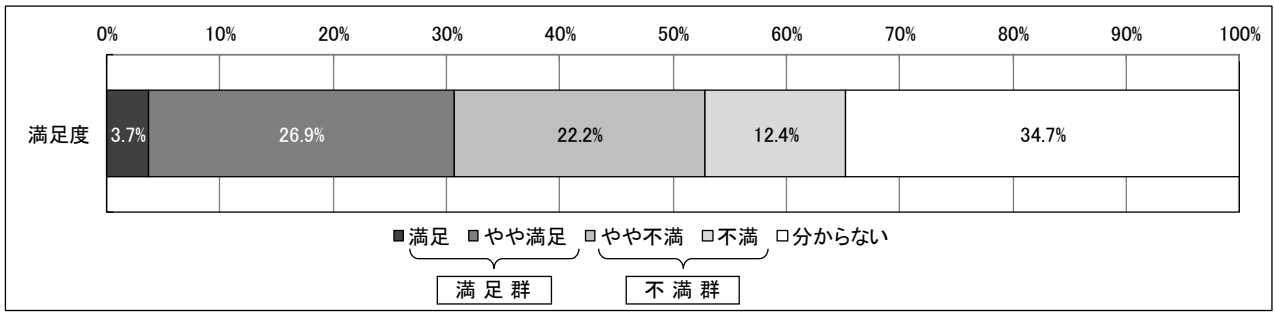


表7 現在の学校教育の内容や環境に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	30.6%	29.1%	31.7%	30.3%	31.4%	30.1%	31.2%	27.5%	26.7%	28.4%	35.1%	34.7%	34.8%	28.8%

表8 現在の学校教育の内容や環境に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	34.6%	37.8%	32.1%	37.6%	29.5%	34.2%	34.8%	36.8%	37.3%	38.4%	32.7%	30.0%	29.4%	36.4%

図5 暮らしの満足度（コミュニティの賑わいなど社会とのつながり）について（県全体）

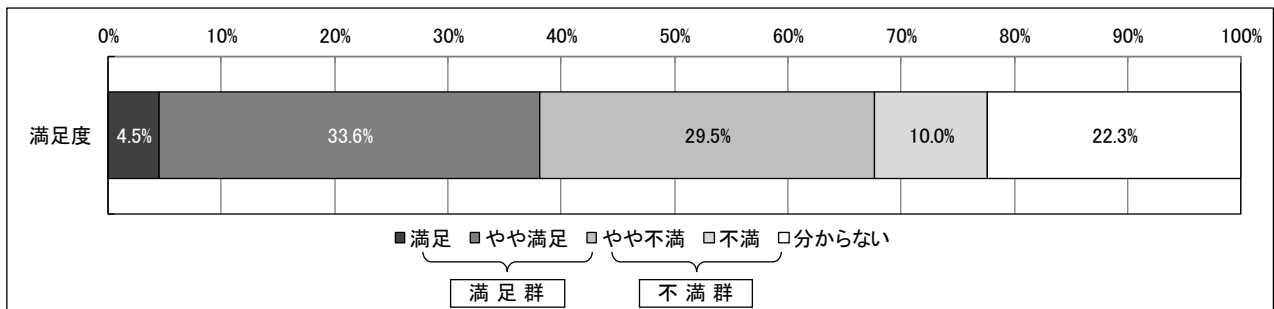


表9 コミュニティの賑わいなど社会とのつながりに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	38.1%	36.8%	39.1%	37.5%	39.4%	37.4%	39.1%	33.4%	37.4%	39.2%	40.1%	42.8%	40.2%	36.4%

表10 コミュニティの賑わいなど社会とのつながりに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	39.5%	41.3%	38.1%	38.7%	40.7%	39.3%	39.4%	43.4%	36.9%	40.0%	40.5%	33.4%	38.3%	42.5%

図6 暮らしの満足度（文化・芸術・スポーツへの親しみ）について（県全体）

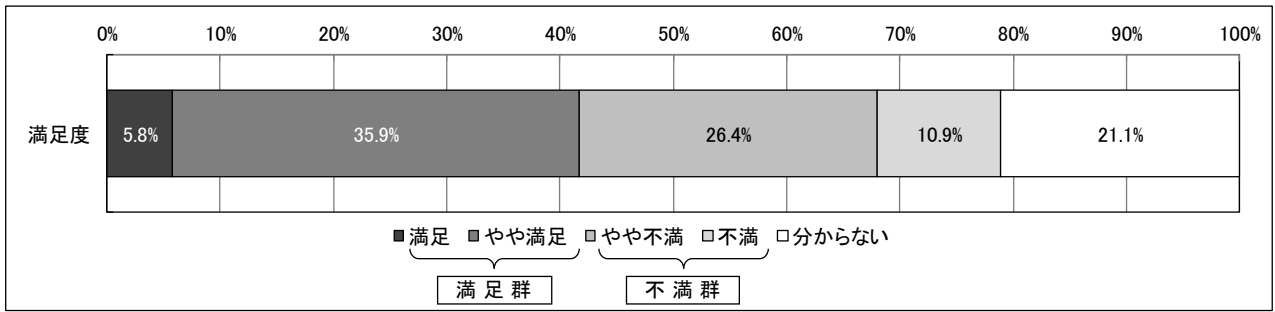


表11 文化・芸術・スポーツへの親しみに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	41.7%	40.3%	42.8%	40.5%	43.3%	42.1%	42.0%	38.2%	47.8%	41.1%	43.5%	44.9%	38.8%	40.2%

表12 文化・芸術・スポーツへの親しみに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	37.3%	39.8%	35.1%	38.0%	36.2%	36.0%	38.1%	39.4%	32.5%	40.7%	39.5%	32.9%	39.2%	36.0%

図7 暮らしの満足度（医療・福祉・介護サービス）について（県全体）

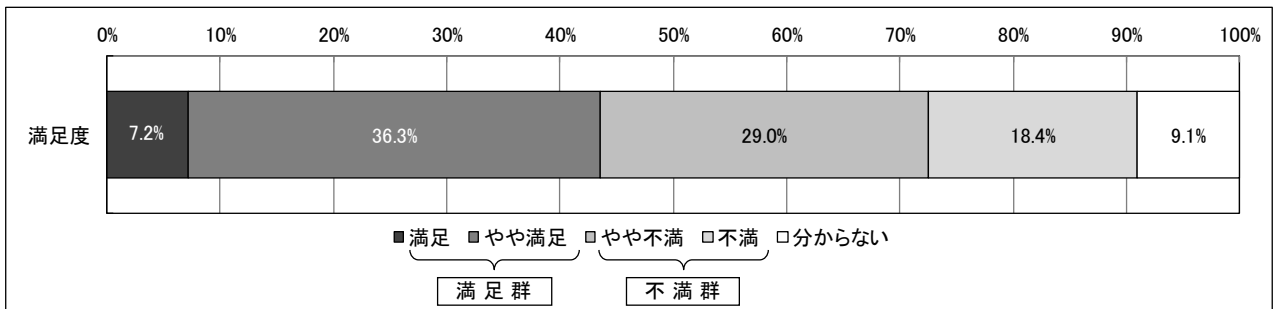


表13 医療・福祉・介護サービスに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	43.5%	41.5%	45.0%	39.6%	49.4%	44.1%	43.5%	38.9%	49.1%	44.9%	48.5%	40.4%	43.9%	39.7%

表14 医療・福祉・介護サービスに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	47.4%	49.0%	46.2%	50.5%	42.6%	45.8%	48.1%	51.6%	39.5%	46.5%	45.7%	48.8%	47.2%	51.1%

図8 暮らしの満足度（余暇活動や生きがいなど生活の楽しさ）について（県全体）

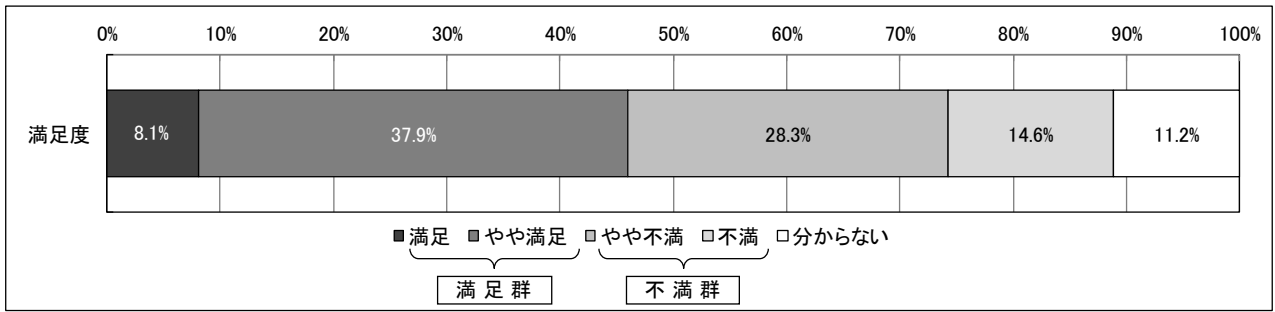


表15 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	46.0%	43.9%	47.4%	41.7%	52.2%	44.1%	47.3%	49.2%	46.9%	49.2%	46.3%	44.5%	42.2%	42.8%

表16 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	42.9%	44.9%	41.3%	45.5%	38.9%	43.9%	42.2%	38.8%	42.5%	42.0%	44.4%	42.7%	45.0%	45.1%

図9 暮らしの満足度（身の回りの自然環境や公園の充実）について（県全体）

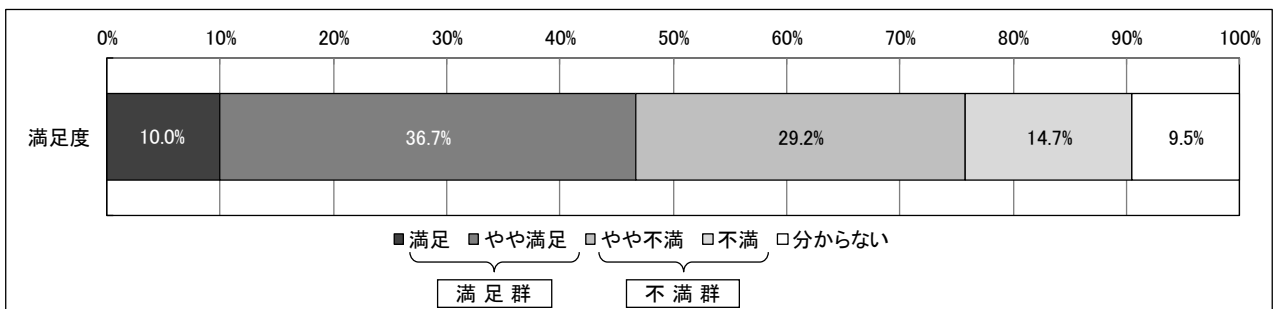


表17 身の回りの自然環境や公園の充実に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	46.7%	46.7%	46.4%	47.0%	46.0%	51.8%	43.9%	42.6%	52.9%	44.4%	39.8%	48.6%	49.3%	53.2%

表18 身の回りの自然環境や公園の充実に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	43.9%	44.0%	44.0%	43.6%	44.3%	40.1%	46.1%	48.2%	39.6%	46.3%	51.4%	38.4%	42.7%	38.4%

図 10 暮らしの満足度（安心安全のための防犯や防災）について（県全体）

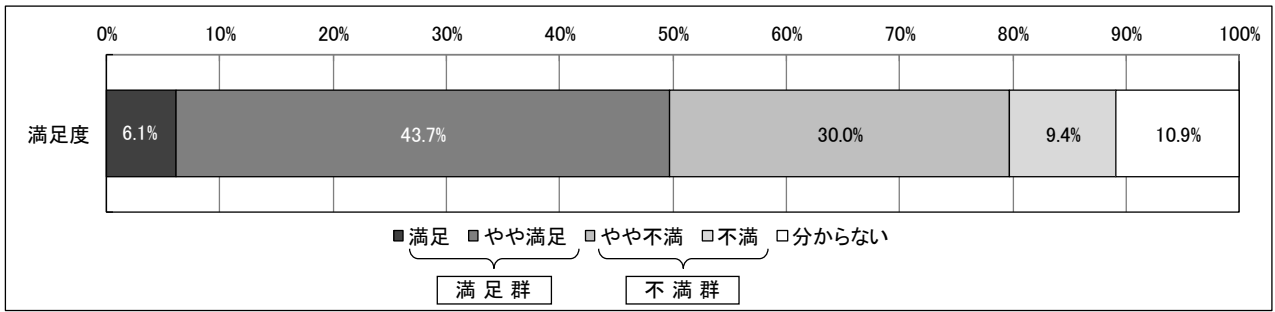


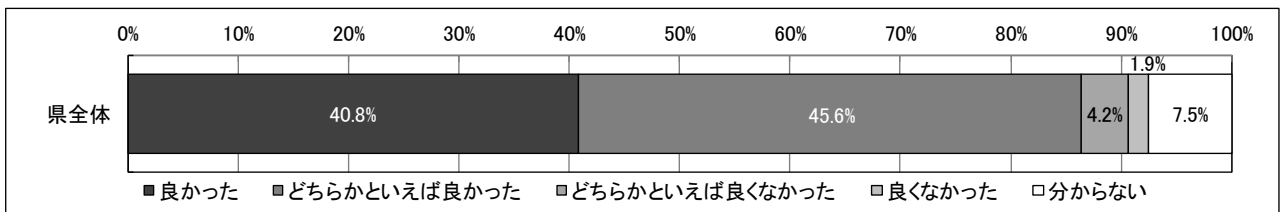
表 19 安心安全のための防犯や防災に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	49.8%	50.3%	49.2%	49.9%	49.4%	50.9%	48.9%	46.4%	48.0%	50.9%	46.9%	49.8%	49.1%	57.6%

表 20 安心安全のための防犯や防災に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	39.4%	39.6%	39.2%	38.3%	41.1%	37.9%	40.4%	40.7%	40.0%	40.9%	44.2%	37.1%	40.6%	31.3%

図 11 「宮城で暮らして良かったと思うか」について（県全体）



(2) 防災意識について

調査結果の概要

【地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策】

○県全体で、「地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策」について、「食料・飲料水、生活用品の備蓄（65.1%）」が最も多く、次いで「家具等の転倒・落下による被害の防止（52.5%）」、「自然災害に備えた保険等への加入（49.3%）」の順となっています。

【防災対策をしていない主な理由】

○県全体で、「日頃行っている防災対策」について「防災対策はしていない」の回答のうち、防災対策をしていない主な理由の割合が一番高かったのは「費用が負担になるから（31.3%）」で、次いで「災害が起きても自分の地域は大丈夫と思うから（27.7%）」、「役に立つかどうか分からないから（26.5%）」の順となっています。

図 1 2 地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策（県全体・地域別）

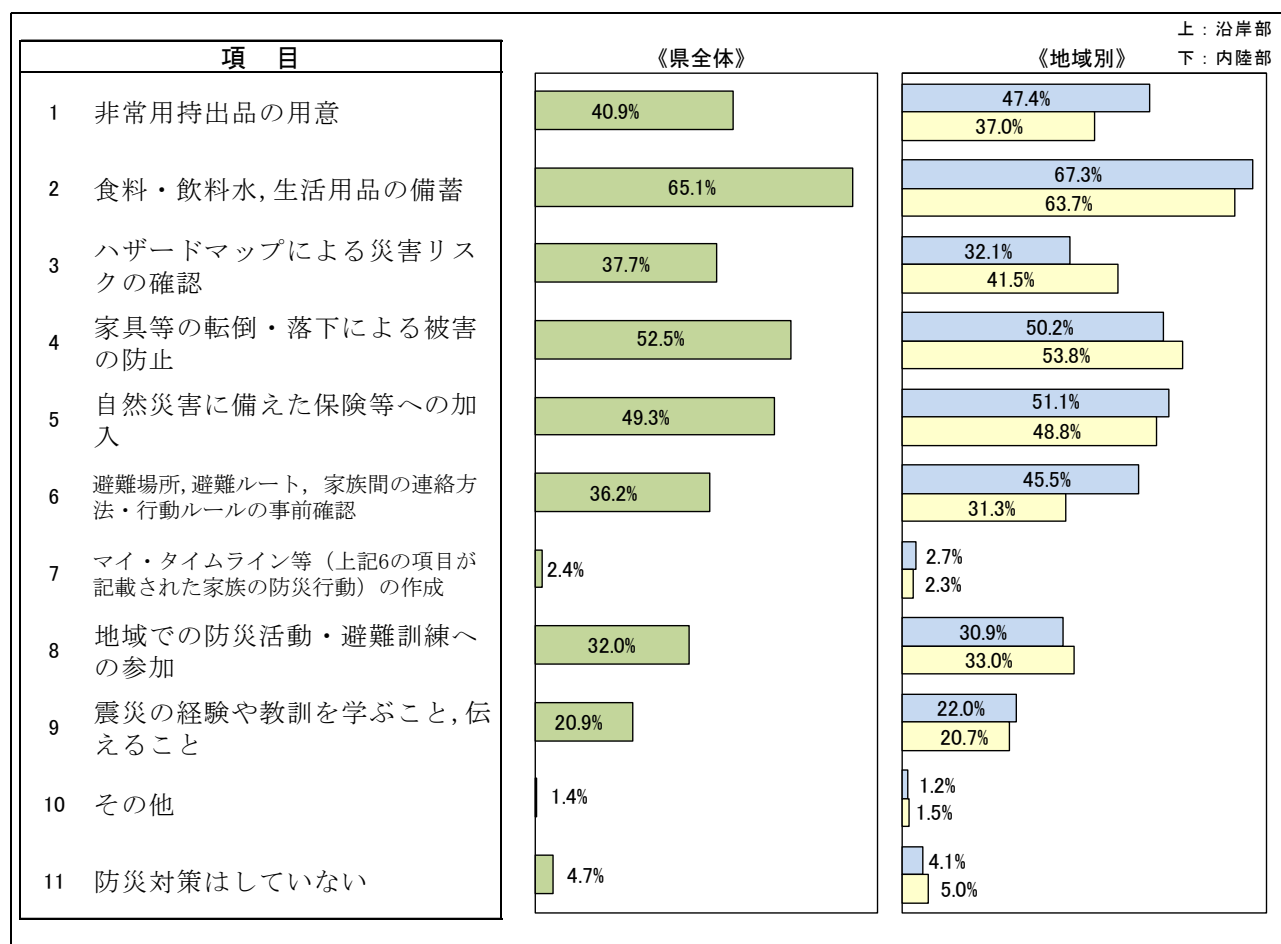
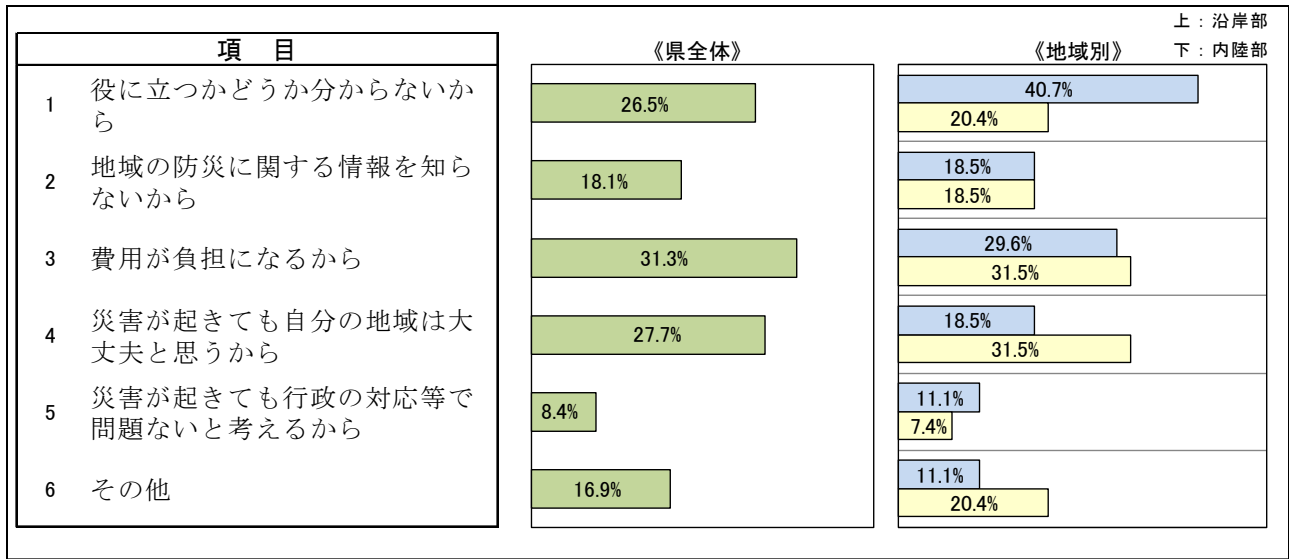


図 1 3 防災対策をしていない主な理由（県全体・地域別）



(3) 自転車保険の加入状況等について

調査結果の概要

【自転車の利用頻度について】

- 県全体で、「自転車の利用」について、「ほとんど毎日利用している」と回答している割合は、6.0%となっています。
- 一方で、「全く利用していない」と回答している割合は、72.6%となっています。

【自転車保険等への加入義務化及びヘルメット着用の努力義務化について】

- 県全体で、「自転車保険等への加入義務化及びヘルメット着用の努力義務化」について、「自転車保険等への加入義務化もヘルメット着用の努力義務化も知っている」と回答している割合は、43.3%となっています。

【自転車保険または個人賠償責任保険（特約等）への加入について】

- 県全体で、「自転車保険または個人賠償責任保険（特約等）への加入」について、「自転車向け保険に加入している（22.3%）」、「自転車保険・火災保険等の個人賠償責任保険特約に加入している（28.8%）」、「T Sマークに付帯する保険に加入している（8.4%）」、「その他の保険等に加入している（6.3%）」と回答している割合の合計は、65.8%となっています。

【自転車保険または個人賠償責任保険（特約等）へ加入していない理由】

- 県全体で、「保険に加入していない」の回答のうち、「加入していない理由」の割合が最も高かったのは、「ほとんど自転車に乗らないから（62.9%）」で、次いで「加入のきっかけがなかったから（18.6%）」、「保険について知らなかったから（16.4%）」の順となっています。

【自転車利用時のヘルメット着用について】

- 県全体で、「自転車利用時のヘルメット着用」について、「ヘルメットを常に着用している」と回答している割合は、7.8%となっています。
- 一方で、「ヘルメットを着用していない」と回答している割合は、92.2%となっています。

【自転車利用時にヘルメットを着用していない理由】

- 県全体で、「ヘルメットを着用していない」の回答のうち、「着用していない理由」の割合が最も高かったのは、「まわりが誰も着用していないため（43.9%）」で、次いで「安全上問題ないと考えているため（26.2%）」、「努力義務であり罰則もないため（24.0%）」の順となっています。

図 1 4 自転車の利用頻度について（県全体）

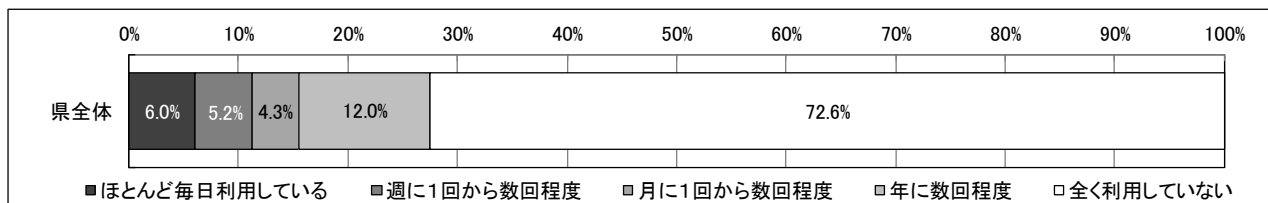


図 1 5 自転車保険等への加入義務化及びヘルメット着用の努力義務化について（県全体）

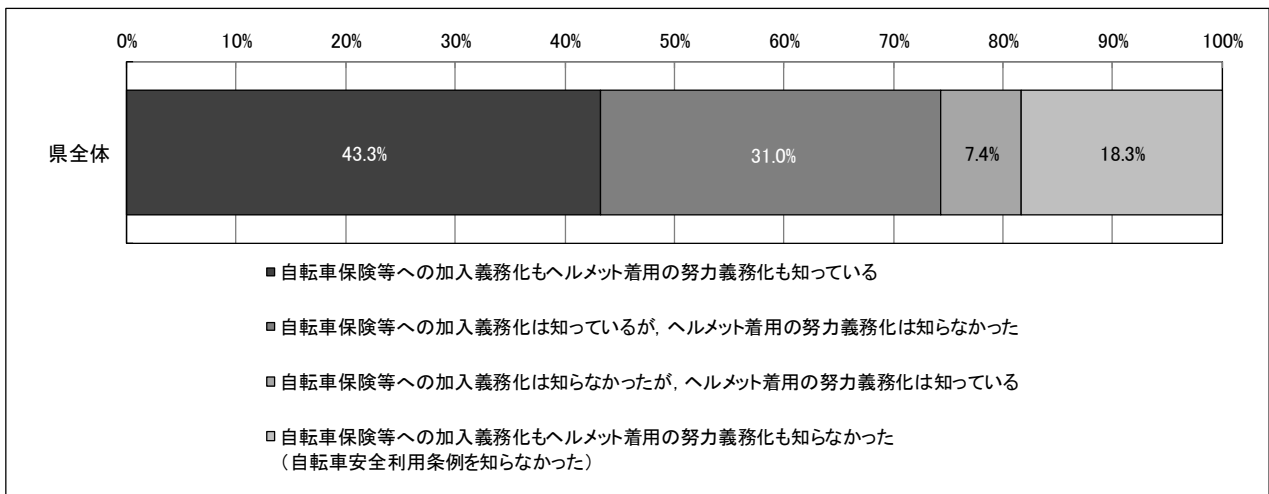


図 1 6 自転車保険または個人賠償責任保険（特約等）への加入について（県全体・地域別）

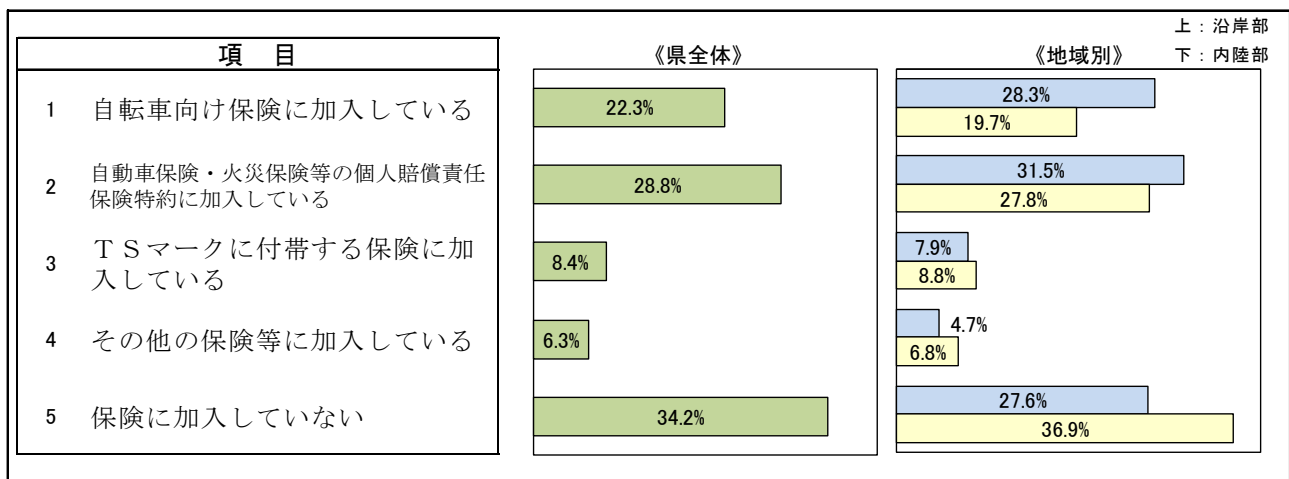


図 1 7 自転車保険または個人賠償責任保険（特約等）に加入していない理由について（県全体・地域別）

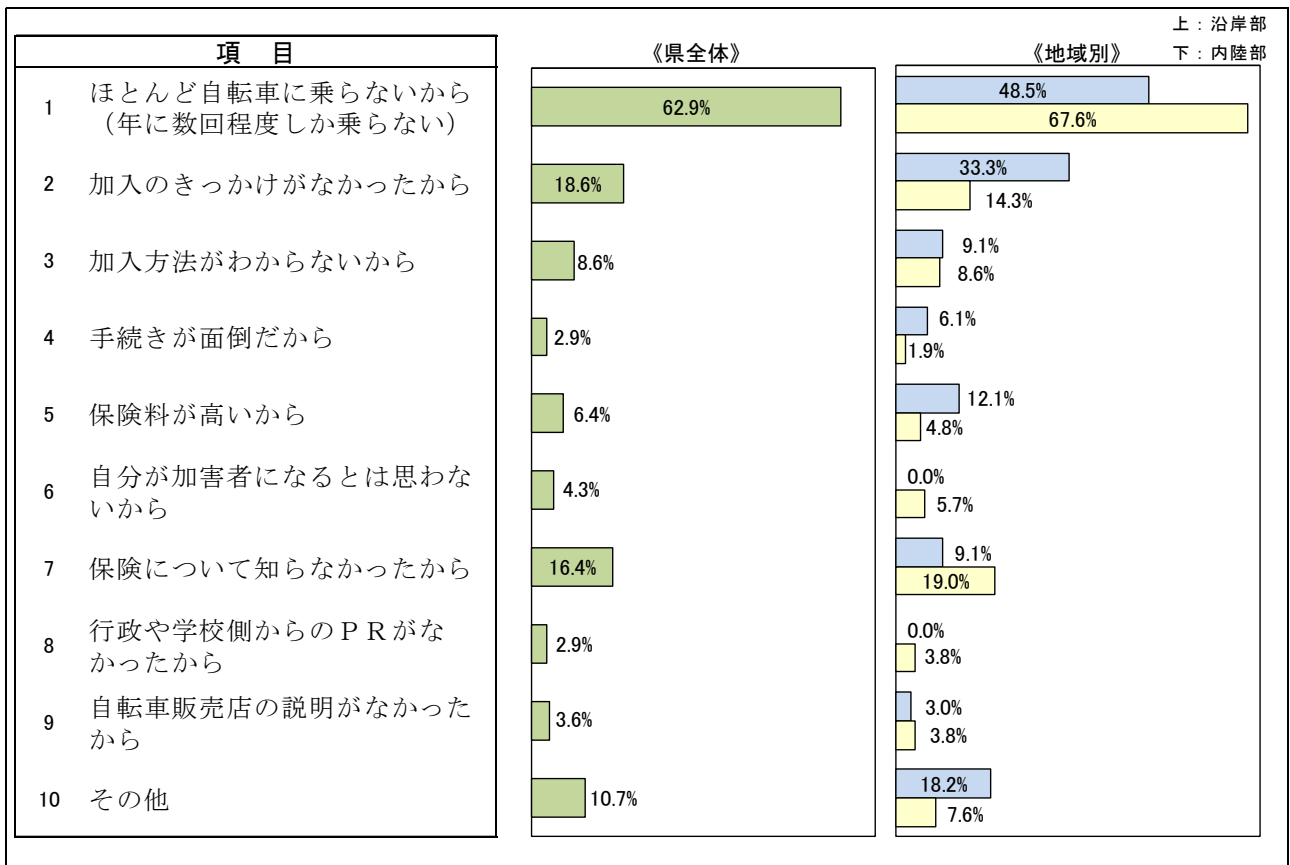


図 1 8 自転車利用時のヘルメット着用について（県全体）

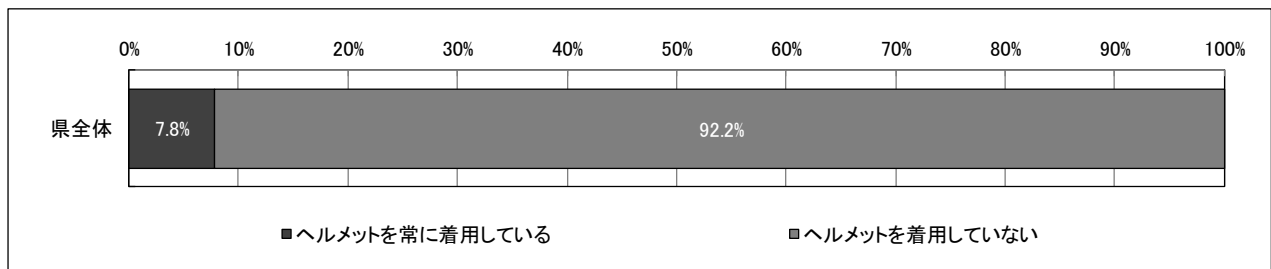
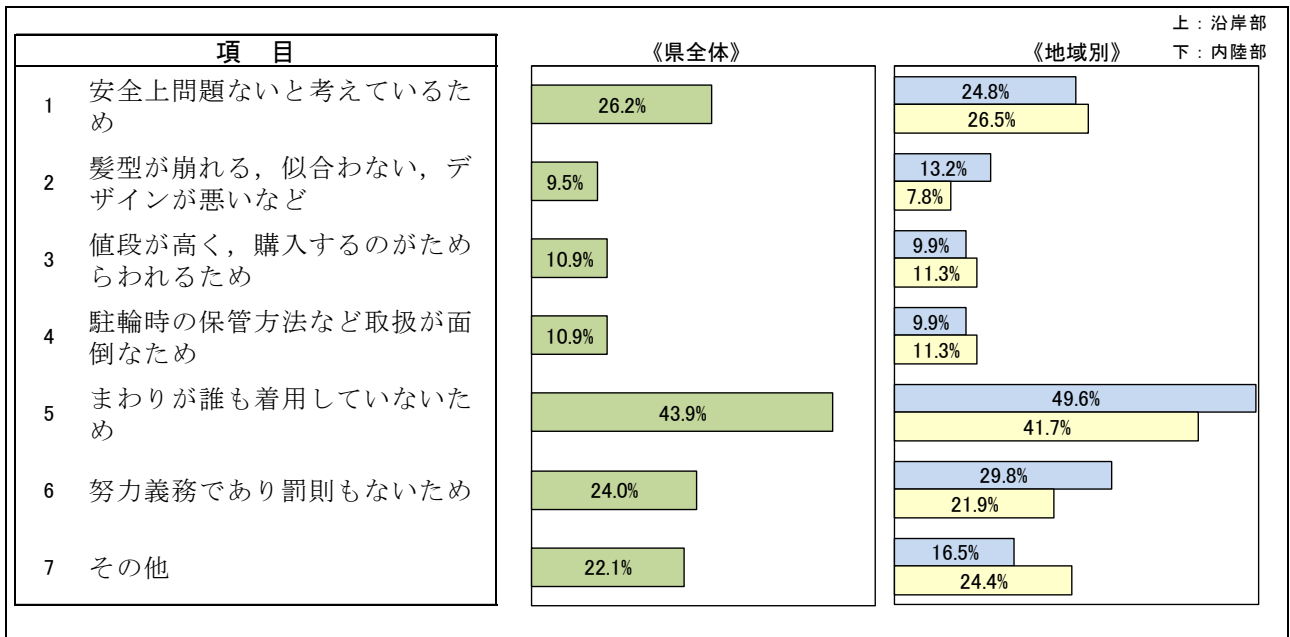


図 19 自転車利用時にヘルメットを着用していない理由（県全体・地域別）



(4) 2050年脱炭素社会の実現について

調査結果の概要

【脱炭素社会を目指すことについて】

- 県全体で、「脱炭素社会を目指すこと」について、「非常に重要である(52.7%)」又は「やや重要である(29.5%)」と回答している割合の合計は、82.2%となっています。
- 一方で、「あまり重要でない(4.7%)」又は「全く重要でない(1.3%)」と回答している割合の合計は、6.0%となっています。

【導入を進めるべきと考える再生可能エネルギー等の種類】

- 県全体で、「導入を進めるべきと考える再生可能エネルギー等の種類」について、回答の割合が最も高かったのは、「太陽光発電(66.7%)」で、次いで「水素エネルギー(25.8%)」、「水力発電(22.7%)」の順となっています。

【導入を進めるべきと考える省エネルギー等の取組】

- 県全体で、「導入を進めるべきと考える省エネルギー等の取組」について、回答の割合が最も高かったのは、「食品ロスの削減(59.0%)」で、次いで「住宅の断熱化(34.1%)」、「電動車(EV,FCV)の導入(28.2%)」の順となっています。

【大規模な再生可能エネルギー施設の導入を避けたほうが望ましいと考える地域】

- 県全体で、「大規模な再生可能エネルギー施設の導入を避けたほうが望ましいと考える地域」について、回答の割合が最も高かったのは、「災害危険区域(51.5%)」で、次いで「住宅地域(50.5%)」、「森林(30.5%)」の順となっています。

図20 脱炭素社会を目指すことについて(県全体)

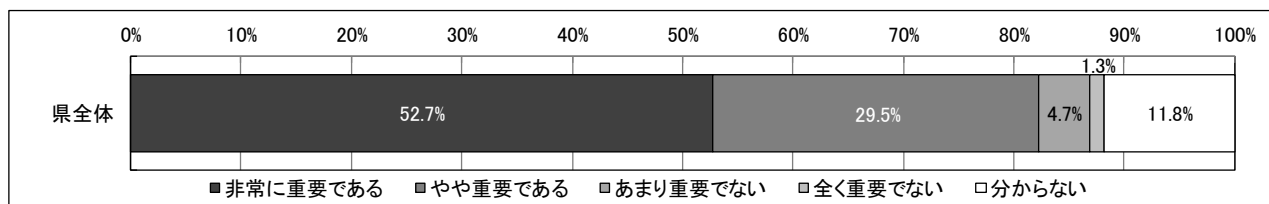


図2-1 導入を進めるべきと考える再生可能エネルギー等の種類（県全体・地域別）

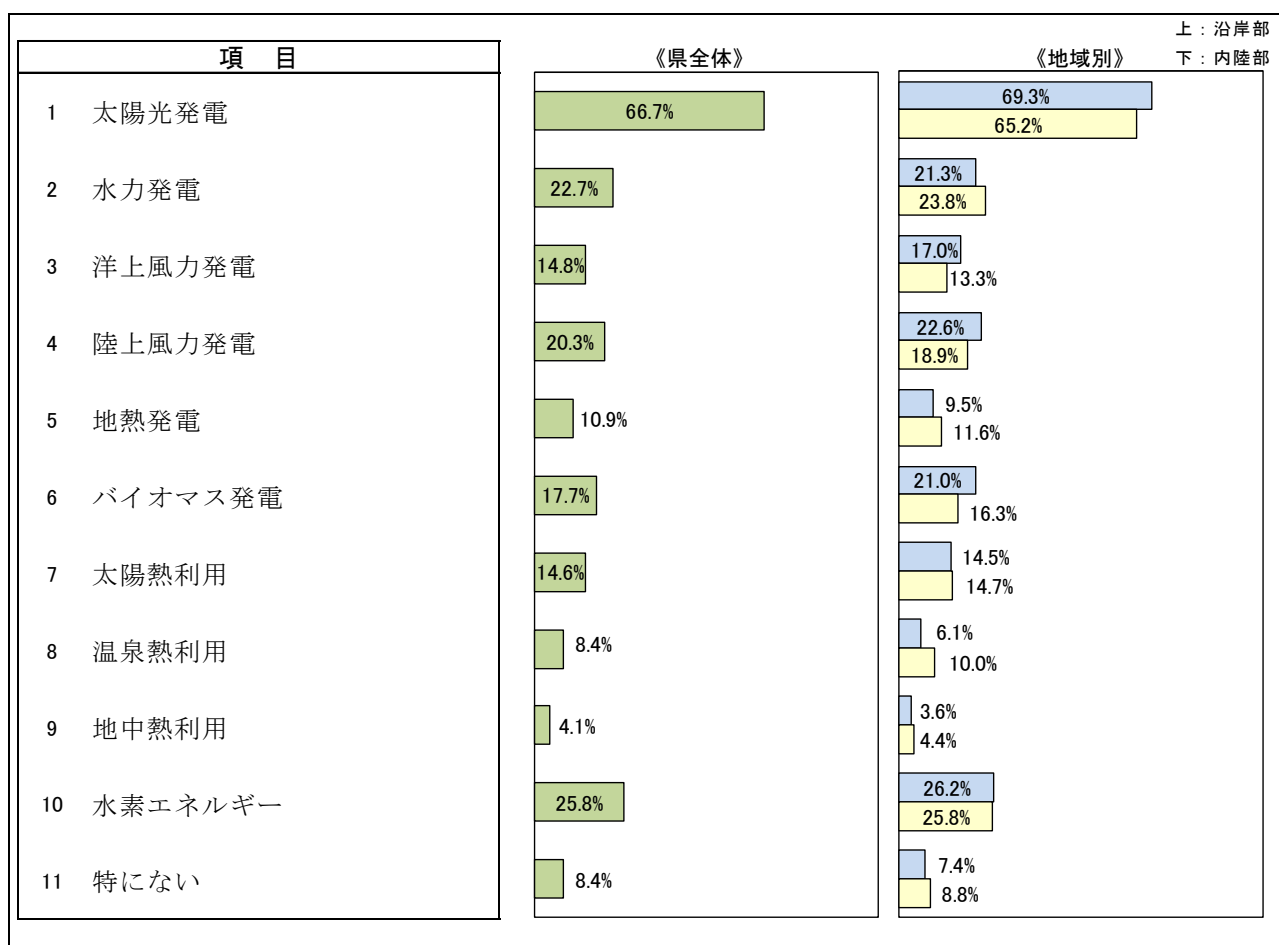


図 2 2 導入を進めるべきと考える省エネルギー等の取組（県全体・地域別）

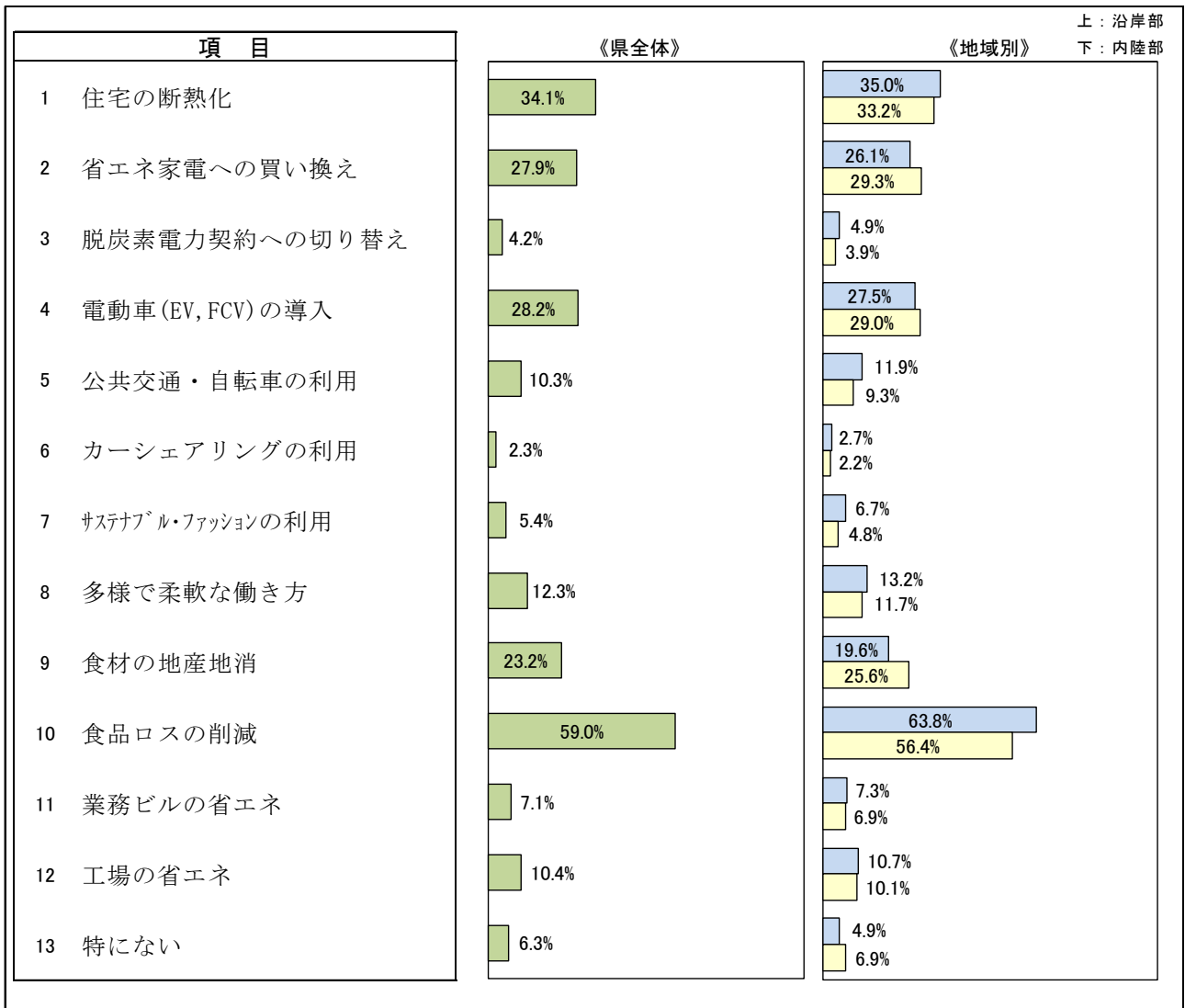
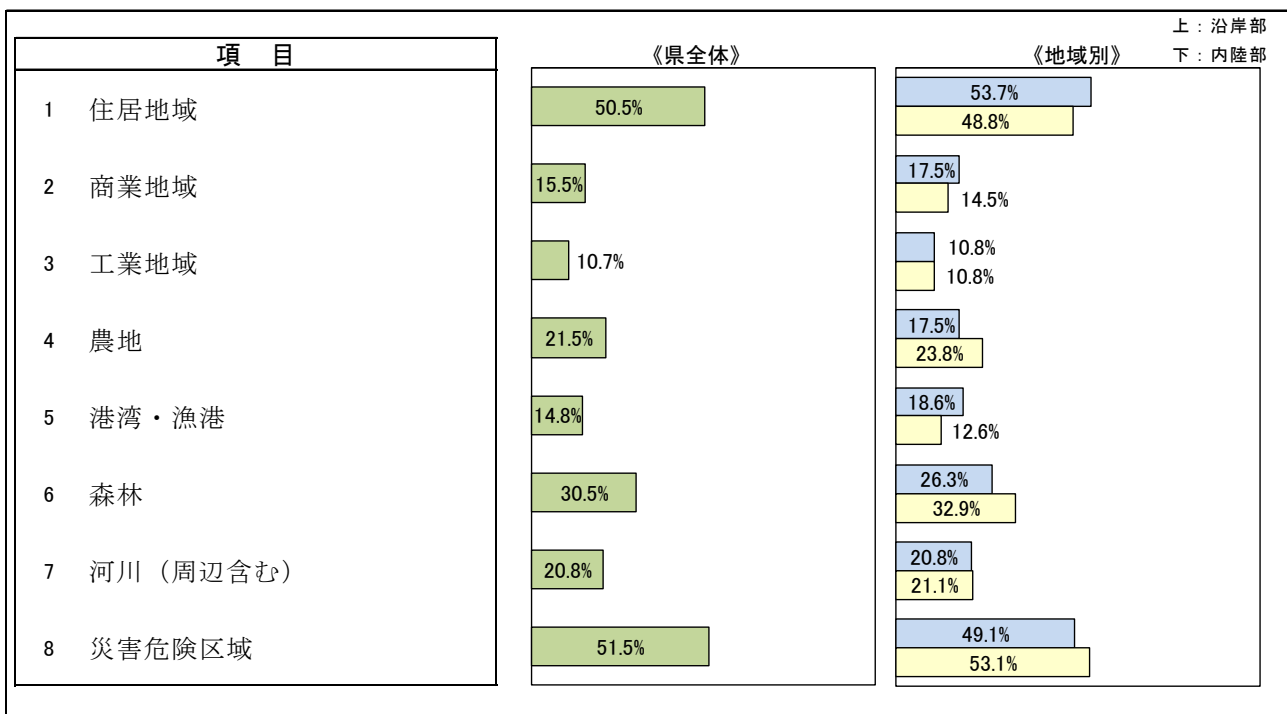


図 2 3 大規模な再生可能エネルギー施設の導入を避けたほうが望ましいと考える地域（県全体・地域別）



(5) 宮城の魅力について

調査結果の概要

【宮城県に愛着や誇りを感じるか】

- 県全体で、「宮城県に愛着や誇りを感じるか」について、「ある(35.9%)」又は「どちらかといえばある(47.5%)」と回答している割合の合計は、83.4%となっています。
- 一方で、「どちらかといえはない(7.9%)」又は「まったくない(1.9%)」と回答している割合の合計は、9.8%となっています。

【どんなとき(もの)に宮城県に「愛着」や「誇り」を感じるか】

- 県全体で、「どんなとき(もの)に宮城県に「愛着」や「誇り」を感じるか」について、回答の割合が最も高かったのは、「海・山・里などの豊かな自然の景観やそれを感じる体験(66.8%)」で、次いで「海・山・大地が育む多彩で豊富な食材や地酒(53.5%)」、「歴史・文化、名所・旧跡(36.0%)」の順となっています。

【宮城県の魅力をどの程度友人・知人や県外の人におすすめしたいか】

- 県全体で、「宮城県の魅力をどの程度友人・知人や県外の人におすすめしたいか」について、「10(強くすすめたい)(7.0%)」又は「9(5.3%)」と回答している割合の合計は、12.3%となっています。
- 一方で、「0(すすめたくない)(1.3%)」又は「1(0.7%)」と回答している割合の合計は、2.0%となっています。

【宮城県の魅力をどのような方法でおすすめしたことがあるか】

- 県全体で、「宮城県の魅力をどのような方法でおすすめしたことがあるか」について、回答の割合が最も高かったのは、「家族・友人・職場の同僚等への口コミ・紹介(59.8%)」で、次いで「Instagram や Twitter , Facebook などの SNS (12.3%)」、「ウェブサイト(ブログなど)(4.1%)」の順となっています。一方、「おすすめしたことはない」の割合が 30.3%となっています。

図 2 4 宮城県に愛着や誇りを感じるか(県全体)

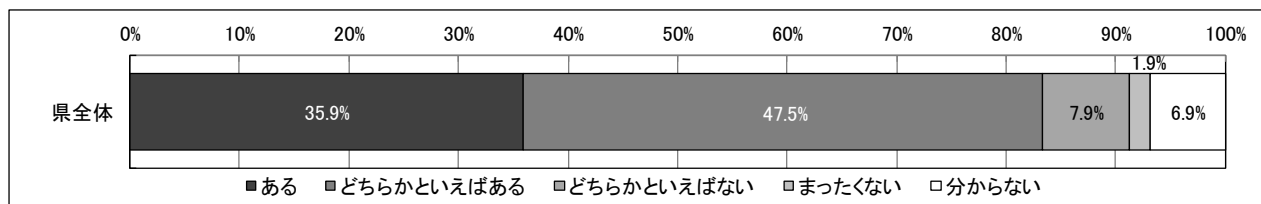


図25 どんとき（もの）に宮城県に「愛着」や「誇り」を感じるか（県全体・地域別）

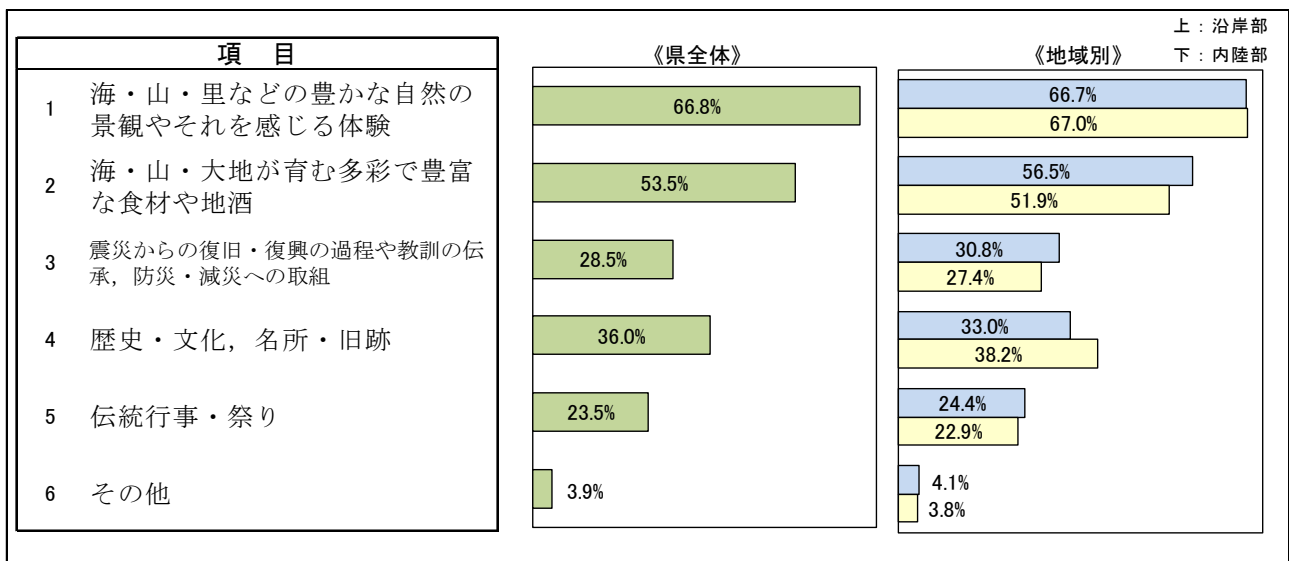


図26 宮城県の魅力をどの程度友人・知人や県外の人におすすめしたいか（県全体）

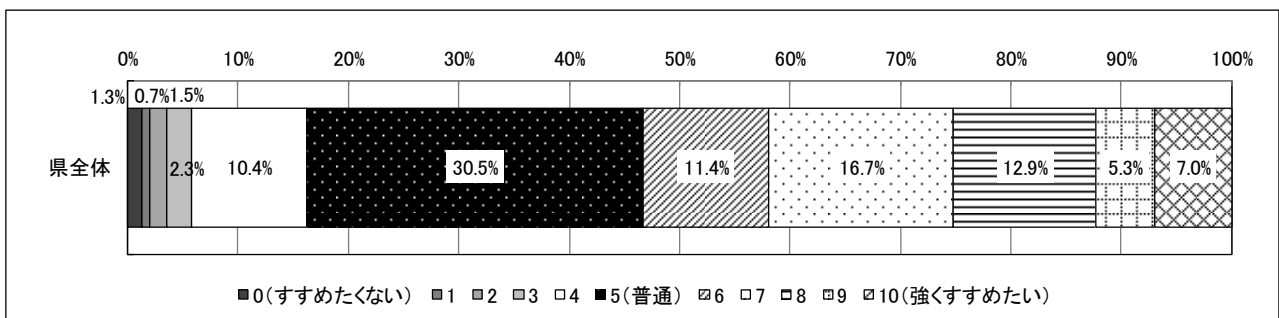


図27 宮城県の魅力をどのような方法でおすすめしたことがあるか（県全体・地域別）

